

咲くやこの花
コレクション
咲くやこの花賞受賞記念

小原一真 写真展

令和7年度咲くやこの花賞 文芸その他部門「写真家」



Fragments of Continuity

フラグメンツ オブ コンティニュイティ

カタストロフ（破壊的な出来事）をめぐる
断絶と忘却、記憶と痕跡

入場
無料

会場Ⅰ 大阪市役所 正面玄関ホール
2026年11月18日(水)～11月27日(金)

会場Ⅱ 大阪市役所 東玄関ホール
2026年12月1日(火)～12月25日(金)

時 間 9:00～17:30(開庁時間に準ずる)
(両会場共) ※土・日・祝日は閉庁のためご観覧いただけません。

企画運営・お問合せ 一般社団法人 アーツインテグレート
TEL 06-6372-6707(平日10:00-17:30)



主催 大阪市

トークイベント

国内外のさまざまな土地で写真家が見た風景、そこでの出会い。
記録と記憶をめぐるスライドトーク。

「登壇」小原一真(写真家) 「日時」12月17日(木)19:00～20:30
「会場」大阪市中央公会堂 小集会室 「定員」先着50名程度

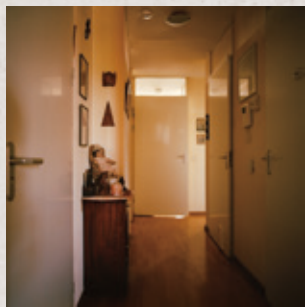


公式HP

大阪市「咲くやこの花賞」

「咲くやこの花コレクション」とは

昭和58年度から将来の大阪文化を担うべき若手芸術家に大阪市が贈呈している「咲くやこの花賞」。大阪の貴重な人的財産である「咲くやこの花賞」受賞者の魅力に触れていただくため、年に数回、発表の場として「咲くやこの花コレクション」を開催しています。

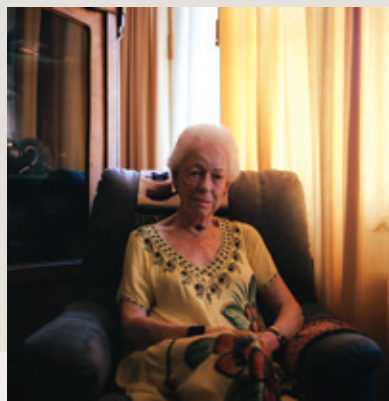


2011年の東日本大震災と福島第一原発事故を機に写真家としてのキャリアを始めた小原は、核や自然災害、戦争、感染症、隔離や差別などをテーマに国内外のさまざまな場所を訪れ、人に出会い、撮影を続けてきました。

福島第一原発事故、チェルノブイリ原子力発電所事故、ビキニ環礁での核実験、太平洋戦争、新型コロナウイルスのパンデミック、ハンセン病、そしてウクライナ戦争。それらは異なる時代と場所で起き、それぞれに異なる背景を持つ出来事です。しかしある出来事が起きた後にも、その影響は人々の身体や記憶、家族、土地、社会制度のなかに残り、形を変えながら現在へと続いていきます。

小原が記録してきた写真、証言、それぞれの資料は、そうした長い時間から切り取られた一つの断片です。それぞれの断片は独立して存在しながら、その背後には写真には直接写らない時間が流れ、異なる場所や時代の出来事と、ときに交差し、関わり合いながら存在しています。

本展では、それらの断片をインスタレーションとして一つの空間に配置することで、小原が16年間にわたり見つめてきた複数の時間と出来事を立体的に立ち上げます。異なる時代と場所に残された断片をたどりながら、その背後に続く時間と、直接目には見えないつながりを想像する。それは同時に、遠い場所や過ぎ去った時代の出来事と、現在を生きる私たちを接続し、見つめ直す試みでもあります。



小原一真 写真展

Fragments フラグメンツ オブ コンティニュイティ of Continuity カタストロフ（破壊的な出来事）をめぐる 断絶と忘却、記憶と痕跡

咲くやこの花
コレクション

咲くやこの花賞受賞記念



おぼろ かずま
小原一真 令和7年度咲くやこの花賞 文芸その他部門[写真家]

1985年岩手県生まれ、大阪府在住。写真家、ジャーナリスト。ロンドン芸術大学フォトジャーナリズム修士課程修了。スイス通信社KEYSTONE-SDAパートナーフォトグラファー。2011年の東日本大震災と福島第一原発事故を契機に活動を開始し、災禍のなかで不可視化される出来事と個人について、長期的な視点から記録に取り組んでいる。主な写真集に、原発作業員などを記録した『RESET Beyond Fukushima』(Lars Müller Publishers / スイス / 2012)、太平洋戦争で被害を受けた子どもたちの戦後をたどる『Silent Histories』(Editorial RM / スペイン / 2015)、チェルノブイリ原発事故とその後を記録した『Exposure』(同左 / 2017)、『The Newspaper』(京都新聞出版センター / 2026) など。アルル国際写真祭、京都国際写真祭をはじめ、国内外で作品を発表。プロジェクトは米ナショナル・ジオグラフィック財団、駐日オランダ王国大使館、モンベルクラブ・ファンドなどから助成・支援を受けている。主な受賞・選出に、世界報道写真賞、米『TIME』誌年間ベスト写真集など。

会場Ⅰ | 大阪市役所 正面玄関ホール
2026年11月18日(水)～11月27日(金)

会場Ⅱ | 大阪市役所 東玄関ホール
2026年12月1日(火)～12月25日(金)

時 間 | 9:00～17:30(開庁時間に準ずる)
(両会場共) ※土・日・祝日は閉庁のためご観覧いただけません。

トークイベント 国内外のさまざまな土地で写真家が見た風景、そこでの出会い。
記録と記憶をめぐるスライドトーク。

「過去は、どのように現在に残り、失われるのか
— 写真、フィールドワーク、記憶をめぐる —」

参加
無料

[登壇] 小原一真(写真家)

[日時] 12月17日(木) 19:00～20:30(受付開始18:30)

[会場] 大阪市中央公会堂 小集会室 [定員] 先着50名程度

[企画運営・お問合せ] 一般社団法人 アーツインテグレート TEL 06-6372-6707(平日10:00-17:30)



大阪市役所 〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3-20

◎Osaka Metro 御堂筋線・京阪電車京阪本線「淀屋橋」駅 1番出口

◎京阪電車中之島線「大江橋」駅 6番出口

大阪市中央公会堂 〒530-0005 大阪市北区中之島1丁目1-27

◎Osaka Metro 堺筋線・京阪電車京阪本線「北浜」駅 26番出口

◎京阪電車中之島線「なにわ橋」駅 1番出口